

メール配信サービス

市からのお知らせをメールで配信しています(事前登録が必要)。
パソコンからは、市ホームページ内「メール配信サービス」をご覧ください。
携帯電話からは、右のQRコードを読み込むか、我孫子市携帯サイト
<http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>へアクセスしてください。



全日本鳥フォトコンテスト【作品募集】

BIRD-1 グランプリ in JBF2013



全日本鳥フォトコンテストは、日本最大の鳥のイベント「JBF」の実行委員会が主催する野鳥写真の公募展です。ぜひ力作をご応募ください!

テーマ ①生態・行動部門「飛翔やさえずり、採食、水浴び、かわいい・かっこいい表情など、鳥たちが見せてくれるさまざまな行動や生態を捉えた写真」
②環境部門「四季折々のさまざまな風景の中にいる鳥たちの姿、生息環境の異変や変化の中で生きる鳥たちを写した、問題提起の意味も込めた写真」



▲全日本鳥フォトコンテスト in JBF2012 生態・行動部門グランプリ「夕陽に向かって」前田賢一さん



▲全日本鳥フォトコンテスト in JBF2012 環境部門グランプリ「共に生きる」伊藤隆さん

賞位 グランプリ…各1点(賞金10万円、賞状、副賞)、準グランプリ…各1点(賞金3万円、副賞)、入賞(副賞) ※入賞作品は、引き伸ばしてパネルを展示します。
応募形態 2Lサイズ(127×178ミリ)のプリントと、2MB以上のデジタルデータ(JPEG)をCD-ROMで提出。各部門1人3点まで。国内外を問わず、未発表の鳥の写真。※ご自身のホームページや展覧会などで、営利を目的とせずに発表されたものであればご応募いただけます。※鳥の生活に大きな影響を与えていることが明白な写真である場合、選考の対象から外します。また、投稿もお控えください。※一眼レフカメラ、デジスコなど撮影機材は問いません。
応募方法 応募写真の裏側に必要事項を記入した専用の応募票を貼り付け、記録メディアと一緒に郵送してください。※応募票は、JBF公式サイト(<http://www.birdfesta.net>)からダウンロードできます。

締切日 8月26日(月)必着

応募手数料 1部門につき1000円。無記名の郵便為替(普通為替または定額小為替)を作品とともに同封してください。

審査員 石丸喜晴さん(デジスコ写真家)・叶内拓哉さん(野鳥写真家)・戸塚学さん(野鳥写真家)・鳥くん(我孫子鳥の大使)・中野泰敬さん(野鳥写真家)・JBF実行委員

入賞作品の発表 JBF2013期間中(11月2・3日)、親水広場水の館3階の「研修室」で展示するほか、JBF公式サイトにも掲載します。

主催 ジャパンバードフェスティバル(JBF)実行委員会

送付先・図 〒270-1192 市役所手賀沼課内(住所省略可)「全日本鳥フォトコンテスト」係、手賀沼課・内線467

手賀沼写真コンクール【作品を募集】

皆さんの力作をお待ちしています

クリーン手賀沼推進協議会では、手賀沼の情景を広く紹介する第28回手賀沼写真コンクール作品を募集します。

テーマ ~四季を彩る手賀沼の自然環境~

規格 六つ切から四つ切サイズ(ワイド可)。

インクジェットプリンターを使用の場合は

写真専用のプリント用紙にA4から四つ切サイズ(ワイド可)。いずれも横位置。カラー

・モノクロは問いません。※ただし、合成写真、組写真は不可。

応募規定 2011年6月1日以降に撮影されたもので、他のコンテストに応募していない自作品を1人3点まで(市販目的のない出版物、クラブ展、個人的なホームページに掲載されたものは可)。

※被写体の肖像権、著作権には十分注意を払ってください。人物を撮影される場合は、必ず被写体の承諾を得てください。※応募作品は、手賀沼カレンダーや刊行物に使用することがありますので返却しません。

表彰 最優秀賞、優秀賞、入賞(入選者には7月下旬ごろ通知)

応募方法 郵送または持参。作品の裏面に必要事項を明記した応募票(手賀沼課・市ホームページに用意)を作品の天地にあわせて貼付し、6月3日(月)~28日(金)必着で〒270-1192市役所手賀沼課(住所省略可)

図 手賀沼課・内線467



▲最優秀賞「輝きに向かって」山崎雅信さん

5月17日から

旧井上家住宅の一部公開を開始します

建物の中には入れませんが、江戸時代の面影を残す建物の外観や中庭などをご覧ください

井上家は、江戸時代中期以来、昭和に至るまで手賀沼干拓の主導的な役割を果たしました。昨年12月末「旧井上家住宅」として、母屋などが市の指定文化財となりました。

公開日時 5月17日(金)から、午前9時30分~午後3時30分(入場は午後3時まで)

※毎週月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始はお休みです。

場所 相島新田1番地(入場無料)

※布佐駅南口から徒歩約20分、駐車場あり。

図 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583



あびこ身近なとり

95

ピンズイ(セキレイ科)

写真 岡本 信夫(鳥の博物館友の会)
文 塩田いつみ(鳥の博物館)



我孫子では秋~春に斜面林や緑地でときどき見られます。頭から尾までの上面は緑褐色で、黒い縦斑があります。ハクセキレイと同じセキレイの仲間で、他のセキレイ類と同様に尾を上下に振り、地上では両足を交互にして歩行します。主な食べ物は昆虫で、ガやチョウの幼虫、ハエ、甲虫、草の種子を食べています。くまなく地上をさがしまわったり、枝にそって歩いて餌をさがしています。ある調査では胃の中にたくさんのゾウムシが入っていたそうです。山地へ移動して繁殖しますが、春の暖かな日には我孫子でもピリリリピピピピピプチなど長く続けてさえずりが聞けることがあります。

あびこ植物図鑑

309

ヒメコウゾ(姫楮)クワ科

文・写真 佐久間 俊行



ちます。

4月半ばに寿地区を訪れると、子ノ神9号古墳の下あたりの道路沿いに、花をつけたヒメコウゾがありました。花を見ると雄花と雌花があり、新しい枝の下部に雄花、上部の葉のつけ根に雌花がありました。雄花は球形に集まり、花粉を作る黄色の葯が目立ちます。雌花も球形に集まっていますが、毛のように見える赤紫色の長い雌しべが目立ちます。雄花は花期を過ぎると、やがて枯れ落ちますが、雌花は受粉後、直径が1~1.5cmの集合果となり、6~7月頃、橙赤色に熟します。コウゾはミツマタと共に和紙の原料として利用されます。

消費生活センターだより 14

架空請求はがきの訴訟という言葉にあわてないで!

「公的な機関のような名前のところから、『あなたが以前契約した訪問販売会社に対して、未納があるので裁判所に訴訟を提起した。早急に連絡するように。このまま連絡がない場合は裁判所に出廷することになる。』などと書かれたはがきが届いたがどうしたらよいか。」といった相談が寄せられています。

あわてて連絡すると弁護士費用を請求されたり、たくみに個人情報聞き出され、しつこく支払いをせまられたりすることがあります。

はがきの内容をよく確認し、身に覚えがない場合は相手に連絡せず無視しましょう。

心配な時は消費生活センターにご相談ください。

相談受付日時 図 ☎7185-0999

平日、第2、4土曜日 午前10時~午後5時30分
アビクオーレ2階(イトーヨーカドー我孫子南口店)

高齢者なんでも相談室出張相談

5月20日(月)午後2時~4時 布佐・新木地区

5月27日(月)午後2時~4時 我孫子地区